

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月24日			
平成15年度	事業コード	17110	電話	042-769-8299
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広聴 班
事務事業名	市民と市長が語る会			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第7章	個性豊かなコミュニティづくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	市民主体のまちづくり	11年度
施策名	第1施策	個性豊かな地域づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市広聴広報規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民参加のまちづくりを推進するため、幅広く市民と市長が市政について積極的に意見交換する場として「市民と市長が語る会」を開催している。	テーマ毎の分野で活動をしている人
	対象数 33人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
平成14年度は「市民と市長が語る会」を4回実施。第1回「みどりについて語る会」は、市内で緑化推進に尽力している方と「相模原市のみどりについて考える!」をテーマに市長と意見交換をした。参加者は団体推薦8人、一般公募2人の10人。第2回「文化を語る会」は、市内に居住している若手芸術家の方と「相模原の芸術文化を語る」をテーマに市長と意見交換をした。参加者は6人。第3回「ボランティアと語る会」は、市内で様々なボランティア活動に関わる方と「体験を通じてのボランティア活動の大切さについて!」をテーマに市長と意見交換をした。参加者は団体推薦6人、一般公募2人の8人。第4回「農業青年と語る会」は、市内で農業に従事している農業青年の方と「農業を通して感じていることなどについて!」をテーマに市長と意見交換をした。参加者は団体推薦9人。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	ジャンル別開催計画
計画年次	11年度～15年度
	5年計画で感動、魅力、フレッシュトークの3分野の中からあらかじめテーマを決めて、「市民と市長が語る会」を実施している。

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標								
活動指標	市民応募者数		市民が参加したいと思うようなテーマを設定しているか。	11	1	25	50	50

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	22	87	85	101	101
	人員・時間数	291	218	218	218	218
	人件費	1,211	907	907	907	907
	その他経費					
	合計	1,233	994	992	1,008	1,008
特定財源						
対象数		40	40	33	30	30
対象の単位あたり経費		30.8	24.9	30.1	33.6	33.6

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業の目的達成度を計る指標を設定することは本事業にはぞぐわないと考える。本事業はテーマを決め、参加者を一般公募し実施している。意見交換はフリートークであり、テーマに関連する担当課職員も出席しており、施策への参考とする主旨は達成をしていると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 一般公募を基本とした市民参加による事業であり、市民や社会のニーズにかなっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		市民の幅広い意見を聴く機会として、テーマ毎に実際に活動をしている方や関心がある方の参加を一般公募や団体推薦で確保し、体験に基づく意見やより専門的な意見を市長と直接意見交換することは施策展開のために有効である。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 市民参加の事業として、市民が直接市長に意見を述べ、また、意見を交換をすることができる機会を確保することは予算や人員に見合った効果として優れている。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	参加者は基本的に一般公募により決定するが、テーマによって団体推薦で参加者を確保することにより、実際の活動体験に基づく意見やより専門的な知識に基づく意見を聴くことは必要なことであり、そのような意味から公平性は保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明: (テーマ選定の検討により成果の向上を図る)市が抱える課題やタイムリーな課題を設定することによって、市民に十分な情報提供をし、より活発な市民参加を促して意見の集約ができれば成果の向上につながる。	手段	市民と市長が懇談をする事業は「市民と市長が語る会」に集約し、事務の効率化を図る。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市民主体のまちづくり実現のために、市民参加を直接促す本事業は必要不可欠なものであり、継続する必要がある。ただし、テーマの選定を検討することによって、より活発な市民参加を促す必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--